

# 中学部です！

## 備前焼の器づくり

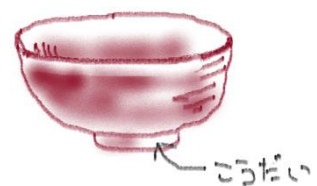
令和2年8月5日（水）

中学部では、各学年が備前焼で器づくりにチャレンジしました。

《1年生》

1年生は、うどんやそばを食べるどんぶりをつくりました。

粘土のかたまりを伸ばして板状にして型に載せる、「型づくり」という技法を用いました。ひも状に伸ばした粘土で「高台（こうだい）」をつくると、途端に器らしくなりました。



《2年生》

2年生は、皿をつくりました。

粘土のかたまりを叩いて伸ばすところまでは1年生と同じですが、そこから、縁を持ち上げて、皿にしました。表面にアジサイの葉を押し当てたり、櫛で線を描いたりして模様をつけました。

2年生は学部の音楽の先生が自作した曲に合わせて、粘土に慣れるエクササイズをして制作にのぞみました。また、10月に校外学習で県立美術館に行きます。その時に備前焼の作品を見る予定にしています。



備前焼の花入れなどを実際に手にして  
みて、手触りなどを確かめました。



### 《3年生》

3年生は、参観日に来てくださった保護者の方と一緒に、「玉づくり」という技法で抹茶茶碗をつくりました。密集を避けるために、廊下も制作場所にしました。保護者の方からは、「親子で何かをつくる機会はありませんので、とてもよい経験になりました」という感想をいただきました。



焼きあがった作品は、授業で「おもてなし」に使うと聞いています。どんな計画があるのかは、またブログで紹介します。